

公共政策研究 第3号 目次

巻頭言	法政策の時代——公共政策学と法律学の連携の必要性	阿部 泰隆	3
会長基調講演	政策デザインにおける政策学的思考 ——学としての公共政策学の成立可能性	足立 幸男	5
特集テーマ	「政策決定の透明性と明確性を目指して」のねらい		
	2003年度年報委員会		11
特集	政策決定の透明性と明確性を目指して		
	政策の透明性の増加はなにをもたらすか？	岸本 哲也	12
	自治体における政策過程の分析 ——東京都の臨海副都心開発の生成過程を素材に	佐々木信夫	22
	政策過程における経済財政諮問会議の役割と特質 ——運用分析と国際比較の観点から	城山 英明	34
	政治における情報公開	曾根 泰教	46
	審議会型政策形成と情報公開の意義——「決定の質」の政策分析	細野 助博	55
	中間的制度改革の必要性と財政情報改革	宮脇 淳	68
論文			
	自治体政策過程における相互参照経路を探る ——景観条例のクラスター分析	伊藤修一郎	79
	環境自主規制の考察	相良 敬	91
	政府部内における「エージェンシー化」と統制の制度設計 ——日英比較によるNPMの理論と実際	西山 慶司	106
	地域政策におけるパートナーシップとNPO ——欧州地域政策(European Regional Policy)を題材にして	宮永健太郎	118
研究ノート			
	公共事業と社会福祉サービスの生産・雇用誘発効果の比較分析 ——拡大レオンチェフ乗数を用いた産業連関分析	塚原 康博	130
	動物愛護管理行政における市民参加の可能性 ——兵庫県動物愛護推進員制度によるケーススタディ	中川 芳江	137
	医療供給制度改革の政策レジーム分析 ——供給抑制型政策への転換をめぐる	西岡 晋	148

書評

岩崎正洋・佐川泰弘・田中信弘編著『政策とガバナンス』	新川達郎	159
岡本哲和著『アメリカ連邦政府における情報資源管理政策：その様態と変容』	廣瀬克哉	160
足立幸男・森脇俊雄編著『公共政策学』	山口定	161

大会報告（2003年度） 162 / 執筆者紹介 166

投稿規定・執筆要領 168 / 会則 170 / 英文サマリー 172

バックナンバー案内 183 / 編集後記 184 / 年報委員会メンバー紹介 185

